

説 教

第4アドベント聖日礼拝 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2023年12月24日（日）

主 題：「主の霊がとどまるお方」

—エッセイの根株—

テキスト：イザヤ書11章1-2節

はじめに

・おはようございます。

- ・今日、私たちは第4アドベントを迎えました。私たちはイエス・キリストの誕生を覚え、『クリスマス礼拝』をもつことが許され感謝します。
- ・今年も残り少なくなりましたが、皆さんにとって、今年はどんな年でしたでしょうか。私たちの周りでも、さまざまなエピソードがありましたね。「美しいストーリー」や、「成功ストーリー」は、私たちに感動を与えてくれました。
- ・しかし、世の中にはその逆の「失敗ストーリー」もあります。成功にたどりつくまでに、だれでも失敗はあります。じつはそこから、人生の教訓を学ぶことが多くあるのです。

- ・聖書の民であるイスラエルの特長を上げるならば、彼らの歴史にあると思います。彼らの歴史は失敗、不信、不従順の連続と言っても過言ではないでしょう。しかし、そこから私たち大切なことを学ぶことができます。
- ・イスラエルの民は、戦いに敗北し打ちのめされ、また深い悲しみを経験しました。しかし神は預言者イザヤを通し、彼らに希望と約束を与えられました。そのひとつは、インマヌエル預言です。

「主みずから、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。」（イザヤ 7:14）

- ・インマヌエル、⇒「神は私たちとともにおられる」という意味です。
では、インマヌエルと呼ばれるがお方が来られると、何が起こるのでしょうか。 ⇒ 新しい事が始まる
- ・今日、私たちは「クリスマス礼拝」を迎え、預言者イザヤに臨んだ神のみことばから考えてみましょう。2点

大切なポイント

1. 「エッセイの根株」の祝福

11:1 エッセイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

1) 「エッセイの根株」

- しばらく前、インドネシアの森林で、日本人が使う「割り箸」のために多くの木が、次から次へ切り倒された姿を写真で見ることがあります。「割り箸」は、一回使用でポイ捨てです。その「割り箸」を作るために切り倒された木が、再び成長するには何十年もの時間を要します。
それは大きな環境破壊問題となり、心を痛めます。
- 皆さん。森林の木々を斧で切り倒していくと、残るのは切り株だけの野原です。そこにどんな希望が見えるでしょうか。しかし神は、絶望の中から新芽を生えさせると言われました。それが「エッセイの根株」と呼ばれるものです。「エッセイ」とは人名です。イザヤは当時、無名の人であった「エッセイ」という名を挙げました。
- では、その「エッセイの根株」とは、何を意味するのでしょうか。
まず新約聖書のはじめ、マタイ福音書を開くと、イエス・キリストの系図が書かれています。そこに「エッセイ」という名が出てきます。
1:5 サルモンに、ラハブによってボアズが生まれ、ボアズに、ルツによってオベデが生まれ、オベデにエッセイが生まれ、
1:6 エッセイにダビデ王が生まれた。
- つまりイスラエルの偉大な王ダビデの父親が、エッセイでした。ダビデは8人兄弟の末っ子でした。すなわち、エッセイ、ダビデ、そしてイエス・キリストという系図になります。「エッセイの根株」には、次の点が分かります。3点。
 - ① 「エッセイ」は、イエス・キリストの家系に位置する。
ここに、イスラエルに約束されたメシヤの出所が明らかである。
 - ② 「エッセイ」は、ベツレヘムの羊飼いであった。(1サムエル16章)
イスラエルに約束されたメシヤ誕生の地は、ベツレヘムでした。
 - ③ 「エッセイの子」という呼び方には、軽蔑の意味が込められていました。身分が低い、低い、立場でした。(1サムエル22:7, 8)
- 神はこのような「エッセイ」という家系に、イザヤを通して不思議なことを成就されました。切り株で生命力がほとんど見えないような根株に、新芽を生えさせ、若枝を伸びさせ、実を結ぶということです。

2) 若枝は実を結ぶ

11:1 エッセイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実

を結ぶ。

- それは無名の家系が、神によって栄えるという預言です。「**新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。**」そこには希望があります。しかし、それを受け入れるには、「信仰」が必要でした。なぜなら、これから先に起こる預言であったからです。神は不思議を行われる方です。人は失望を失うような中でも、神にあって「希望」を得ることが出来ます。
- 皆さん。ここでイスラエルの歴史を見てください。神は確かに希望のない「エッサイの根株」から新芽、若枝、そして実を結ばせました。⇒それはメシヤ誕生を意味します。イエス・キリストが生れたクリスマスです。キリストの誕生は、混沌とした世界に希望を与える光です。
- 今の世の中、暗闇の中で混沌としています。多くの人々は真の平安を求めています。しかし、どこに真の平安があるか求めています。しかし、ここに真の希望である光があります。

{例 話}

- 一昨年2月24日、残念なことにロシア軍の侵攻によってウクライナ戦争が始まりました。まだ解決策が見えない状態です。犠牲となっているのは国民です。
- 先日、このような話を耳にしました。ウクライナで戦争が始まって以来、ウクライナ人に霊的变化が現れていることです。これまで時々しかキリスト教会へ行かなかった人々が、続々と教会へ足を運び「聖書」を慕い求めているそうです。
- 今ウクライナの人々は戦火に見舞われ、もしかして明日、自分の命は危ないかも知れないという状況に置かれると、意見の違いを討論することはなくなったそうです。そんなことは小さなことに過ぎないと考えるからです。
- そのような命が危険という中で、人は教会へ「聖書」へ視点を変えているそうです。そして永遠ということを考える人々が多くなっているそうです。聖書に次のみことばがあります。

3:11 神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。(伝道者の書)

- 今、ウクライナでは「聖書」が不足しています。Butschaのキリスト教会では、150人集まる会堂に600人もの人々が集まっています。神の書である「聖書」が、人々に光を与えています。
- 皆さん。人が真に求めているのは、真の希望である「光」です。聖書はイザヤを通して、預言しました。

11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

- 確かに、メシヤであるイエス・キリストが生まれました。神はこのお方を信じる人に、約束と希望を与えてくださいました。クリスマス、それはこのお方の誕生を記念するものです。では、メシアはどんなお方でしょうか。イザヤは次のように預言しました。

2. メシアに主の霊がとどまる

11:2 その上に、主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。

- 「その上に」 (on Him : メシアの上に)
⇒メシヤであるイエス・キリストです。

1) 主の霊がとどまる

- 「その上に、主の霊がとどまる」とは、神の霊がこのお方の上に注がれるということです。このお方は、神の聖い霊に満たされたお方です。神に「油注がれた者」です。イスラエルでは王や祭司や預言者が、任職するときに、オリーブ油によって「油を注ぐ」儀式を行いました。
- 「油注がれた者」とは原語で、“masiah” (マーシーアハ) と言い、そこから「メシヤ」 (messias : 救世主) という言葉が生まれました。しかしイザヤはオリーブ油という油ではなく、「主の霊」 (神の霊) という油が注がれると預言しました。
- それから約700年経過し、確かにイエス・キリストは誕生しました。ヨハネの福音書は、そのイエスについて次のように語りました。
1:32 またヨハネは証言して言った。「御霊が鳩のように天から下って、この方の上にとどまられるのを私は見ました。
1:34 私はそれを見たのです。それで、この方が神の子であると証言しているのです。」
- このようにイエスの上に、御霊が下りとどまりました。イザヤ預言は正しく成就しました。イザヤは、メシアについて更なる預言をした。

2) 主の霊の働き

- イザヤ書11章2節には、『主の霊』の現れは、3方面から、それぞれ二つのことが書かれています。合計6つになります。ここで言う「主」とは、天父神のことです。その三つを考えてみましょう。

① 「知恵と悟りの霊」

- ・『知恵』(hokmah:ホクマー)は、本来「さばく」という意味です。物事をさばき、判断するために必要な資性が「知恵」です。たとえば、ソロモン王は「知恵の人」であったことは知られています。彼がどれほど知恵に富む人であったかは、彼の物事に対する判断、知識に現れていました。1列王記
 10:1 シバの女王は主の名にかかわるソロモンの名声を聞いたので、難問をもってソロモンを試みようとした。

 10:2 彼女は多くの従者を連れ、香料と、たくさんの金と宝石とをらくだに負わせてエルサレムにきた。彼女はソロモンのもとにきて、その心にあることをことごとく彼に告げたが、

 10:3 ソロモンはそのすべての問に答えた。王が知らないで彼女に説明のできないことは一つもなかった。
- ・このようにソロモン王の知恵は、想像を超えるほどのものでした。
これは上(神)から来る知恵でした。
 ◎『悟り』(binah:ビーナー)は、「分ける」、「区別する」という意味です。それは物事の真実を見抜くという意味です。『知恵と悟りの霊』は、上(神)から来るものです。政治家に、教育者に、実業家に、そして私たちに求められるものです。私たちは、この「知恵と悟りの霊」を必要とするものではないでしょうか。
- ・主の「知恵と悟りの霊」が注がれる人は幸いです。

② 「はかりごとと能力の霊」

- ・「はかりごと」とは、物事がうまくいくように、前もって考える手段、方法、計画などです。「はかりごと」(ezah:エーツアー)は、『助言者』(9:6)とも訳される言葉です。実際、さまざまな行動や、決断が必要なとき、「はかりごと」、つまり計画性と助言者が必要になります。
- ・「能力」(gebrah:ゲブラー)は、「力」、「強い」という意味です。正しく、人に求められる資性ではないでしょうか。「はかりごとと能力の霊」は、上(神)から来るものです。
 「計画性とその力の霊」が注がれる人は幸いです。

③ 「主を知る知識と主を恐れる霊」

- ・主を知る知識(daat:ダート)とは、単なる知識ではなく、深い人格的な信頼関係を意味します。真に信頼し、寄り頼むという関係です。詩篇作者は次のように歌いました。詩篇
 9:10 「御名を知る者はあなたに抛り頼みます。主よ。あなたはあなたを尋ね求める者をお見捨てになりませんでした。」

- ・「主を恐れる霊」とは、恐怖心ではなく、神への信仰、敬虔、畏敬する霊のことです。
- * このようにイザヤは、救い主に6つの特性が、3方面から臨むと預言しました。2節を注意深く読むならば、興味深い事が分かります。もう一度、読みましょう。

11:2 **その上に、主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。**

- ⇒ ①「その上に」 (on Him, 御子)
 ②「主の霊」 (御霊)
 ③「主の」 (天父神)

- ・聖書学者たちは、ここに三位一体の神を見ると言います。
- ・「エッサイの根株」⇒ それは切り倒された森林の野原に残された「切り株」にすぎませんでした。一見、何の価値も見出させないような、切り株にすぎませんでした。しかし、イザヤは主の霊に満ちて預言しました。つまりエッサイの根株である若枝イエス・キリストは、全ての面で預言を成就しました。

11:1 **エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。**

これは神が成されたわざです。ハレルヤ！

- ・イエスはこう言われました。マタイの福音書3章
 3:9 『われわれの先祖はアブラハムだ。』と心の中で言うような考えではいけません。あなたがたに言うておくが、神は、この石ころからでも、アブラハムの子孫を起こすことができになるのです。
- ・希望のメッセージです！ このお方こそ、今から約2千年前、イスラエルの寒村、ベツレヘムで誕生されたイエス・キリストです。このお方を信じる人は救われます。そして、主から同じように助けをいただき歩む人となります。
 ⇒これが、神が与えてくださった福音 (Good News) です。

『例話』

- ・人は人の意志や力で、他人を変えることはできません。聖書のなかに、パウロという人物がいます。彼は熱心なユダヤ教徒で、クリスチャンを迫害していた人でした。その彼がダマスコへの途上、突然天からの光に打たれ地に倒れました。光の中からの声は、迫害していたイエス・キリストでした。彼はそれから三日間、失明してしまいました。
- ・開眼した後、彼の人生は180度転換しました。それはイエス・キリストにお出会ったからでした。そして初代教会時代、たいへん重要な伝道の働きを担う器となりました。
- ・愛する皆さん。いったい、何が人を変えたのでしょうか。

⇒ 聖書の神

パウロは、「エッセイの根株」から生まれたメシア（救い主）にお会いし、このお方を信じたからです。彼は、

- ① 自分の罪がメシア（イエス）によって、赦される経験をしました。
- ② そして、赦された者が、次に人を赦す人に変えられたことです。これは神がなされたことです。

- ・「エッセイの根株」から生まれたお方（メシヤ）は、イエス・キリストです。イエスは、クリスマスの日、エッセイの出身地ベツレヘムで生まれました。このお方は、「主の霊がとどまるお方」、偉大な大いなるお方です。私たちはこのお方を信じるだけで、罪赦されます。
- ・今日はクリスマス礼拝です。今一度、聖書の神に心からの信頼を置こうではありませんか。その人こそ、じつに幸いな人です。

ま と め

主 題：「主の霊がとどまるお方」

—エッセイの根株—

- ・今日は第4アドベント、「クリスマス礼拝」です。神の御子イエス・キリストが生まれたクリスマスを前に、このように礼拝を捧げてきました。BC 8世紀、預言者イザヤは神の霊を受け預言しました。それはやがて、エッセイの根株からメシヤが生まれるというメッセージでした。
- ・では、救い主（メシヤ）とは、どんなお方でしょうか。
 1. メシアは<エッセイの根株>からでる
 2. メシアには主の霊がとどまる
- ・いかがでしょうか？ 私たちはこのメシアを信頼しているでしょうか。聖書が語るこのお方こそ、真の救い主です。あなたも、このメシアを信じるならば、生きる力をいただくことができます。

* God Bless you!